

たかしん上半期ディスクロージャー誌

# たかしんレポート

2019年4月1日～2019年9月30日



# 2019年度上半期(2019年4月1日~2019年9月30日)の主な経営情報をお知らせします。

## 預金積金の状況について

2019年9月末の預金積金残高については、3,749億円と前期末に比べ36億円増加しました。

### ●預金積金残高の推移



(単位：百万円)

項目	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
預金積金	375,798	371,266	374,938

## 貸出金の状況について

2019年9月末の貸出金残高については、金融・保険業及び建設業向け融資が伸びたことから、1,681億円と前期末に比べ16億円増加しました。

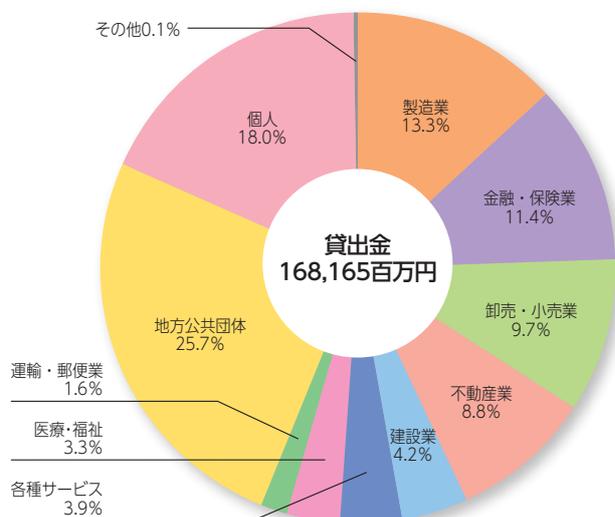
### ●貸出金残高の推移



(単位：百万円)

項目	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
貸出金	164,396	166,495	168,165

### ●貸出金業種別構成比(2019年9月末)



## 収益の状況について

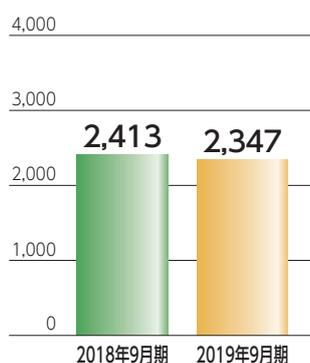
マイナス金利政策の影響による貸出金利息収入の減少を主因に、経常収益は前年同期比66百万円減少した一方、手数料収入の増加や経費の減少などにより、本業のもうけを示すコア業務純益は6百万円増益の300百万円となりました。また、当期純利益は246百万円増加し、423百万円となりました。

(単位：百万円)

項目	2018年9月期	2019年9月期
経常収益	2,413	2,347
コア業務純益	293	300
経常利益	179	427
当期純利益	177	423

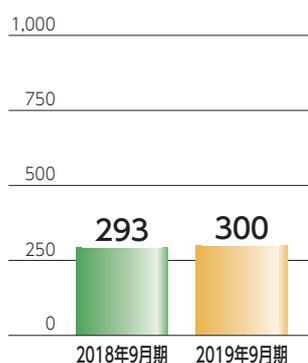
### ●経常収益の推移

(単位：百万円)



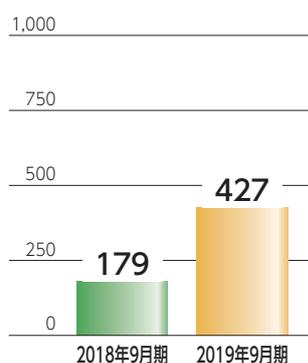
### ●コア業務純益の推移

(単位：百万円)



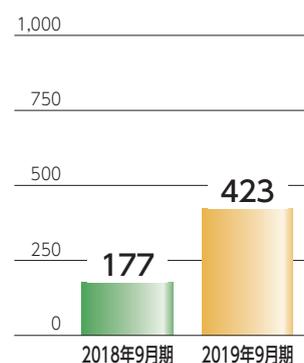
### ●経常利益の推移

(単位：百万円)



### ●当期純利益の推移

(単位：百万円)



## 有価証券の評価損益について

地域の皆さまからお預かりした預金積金は、貸出金や金融機関預け金のほか有価証券で運用しております。評価損益は、株式市場の上昇と国内外金利の低下により前期末比1,268百万円増加し、6,638百万円の評価益となりました。

(単位：百万円)

	2019年3月末				2019年9月末			
	残高	評価益	評価損	評価損益	残高	評価益	評価損	評価損益
満期保有目的	3,850	98	5	92	3,050	85	0	84
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	154,769	5,706	429	5,276	157,147	6,944	390	6,553
株式	543	204	—	204	500	161	—	161
債券	101,231	1,193	23	1,169	98,962	1,275	43	1,231
その他	52,994	4,308	406	3,902	57,684	5,507	347	5,160
合計	158,619	5,804	435	5,369	160,197	7,029	391	6,638

(注) ●残高は、各末日における市場価格等の時価に基づいております。

●「評価益」「評価損」は、それぞれ「評価損益」の内訳です。

## 不良債権の状況について

2019年9月末時点で厳格に資産査定した結果、貸出金や債務保証見返などに対する金融再生法ベースの不良債権額は9,254百万円となりました。

### ●金融再生法開示債権及び同債権に対する引当・保全状況

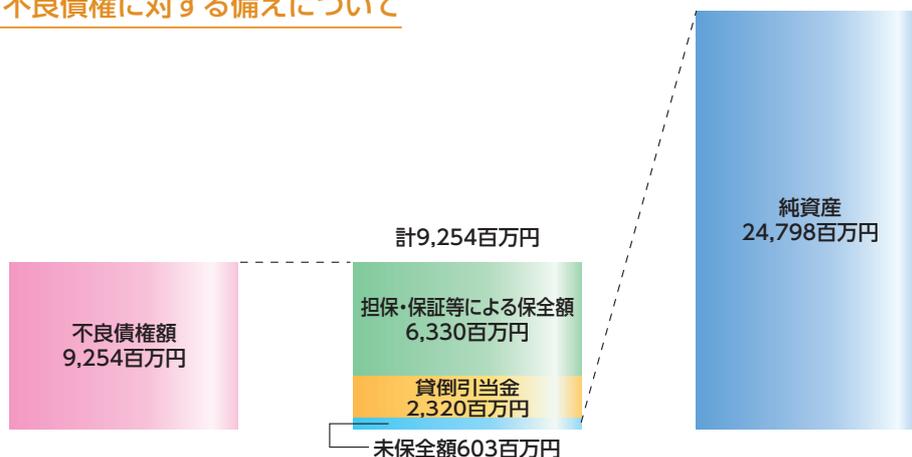
(単位：百万円)

区 分	2019年3月末	2019年9月末					
	開示残高	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等 による回収 見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b/a)	引当金 (d/(a-c))
金融再生法上の 不良債権(A)	9,578	9,254	8,650	6,330	2,320	93.47%	79.36%
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2,313	1,734	1,734	1,400	334	100.00%	100.00%
危険債権	6,922	7,086	6,728	4,776	1,952	94.95%	84.50%
要管理債権	342	433	187	153	34	43.29%	12.28%
正常債権	158,493	160,362	(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。				
合 計(B)	168,071	169,616					
不良債権比率 (A/B×100)	5.69%	5.45%					

## 不良債権に対する備えについて

金融再生法ベースの不良債権額は9,254百万円ですが、担保・保証等及び貸倒引当金計8,650百万円により保全され、保全率は93.47%と高水準となっております。未保全額は603百万円となりますが、これに対して純資産の総額は、24,798百万円あり、不良債権に対する備えは万全です。

### ●金融再生法に基づく不良債権に対する備えについて



## 自己資本比率について

自己資本比率は2019年3月末比0.26ポイント低下し、12.82%となりました。なお、この比率は、国内基準に適用される4%に対し、3倍を超える水準にあります。

### ●自己資本比率の状況

(単位：%)

決算期	自己資本比率
2019年3月末	13.08
2019年9月末	12.82

### ●自己資本比率の内訳

(単位：百万円)

項目	2019年3月末	2019年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	19,779	20,168
コア資本に係る調整項目の額 (B)	88	80
自己資本の額 (C) = (A) - (B)	19,691	20,087
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	150,517	156,674
自己資本比率 (C) / (D)	13.08%	12.82%

コア資本に係る基礎項目とは自己資本の中の出資金、利益剰余金等をいいます。リスク・アセットとは、リスクに応じた掛目を乗じた後の資産をいいます。

## 昭和支店のリニューアル工事が完了いたしました

お客さまがゆっくりくつろげる雰囲気的空間へとリノベーションし、2019年10月1日(火)にリニューアルオープンいたしました。



記念品を贈呈する吉岡理事長(写真左)

## 第7回「高岡ねがいみち駅伝」に参加

2019年5月19日(日)に開催された第7回「高岡ねがいみち駅伝」に、今年も地域振興行事への参加として出場いたしました。



## 伊勢神宮ご参拝 賢島“宝生苑”に泊まる1泊2日の旅

信市会の皆さま (於：犬山城)



2019年4月23日～24日

## 世界文化遺産・国宝 姫路城と塩田温泉の旅

戸出たかしん会の皆さま (於：姫路城)



2019年9月22日～23日

# 店舗一覧及びATM設置状況

- 当金庫のATMは、年中無休で稼働しております。(一部店舗を除く)
- 「しんきんゼロネットサービス」により、全国約2万台の信用金庫のATMで利用手数料を支払うことなく、キャッシュカードによる現金の預入れ、引出しができます(平日8:45~18:00の入出金、土曜日9:00~14:00の出金)。但し、本サービスの対象とならない信用金庫が一部ございます。
- 「しんきん北陸トライネットATMサービス」により、北陸3県内に本店を置く16信用金庫が設置・管理しているATMで利用手数料を支払うことなく、キャッシュカードによる現金の預入れ、引出しができます。



- …平日・土曜日・日曜日・祝日を通してATMがご利用いただけます。
- …平日のみATMがご利用いただけます。

(2019年11月末現在)



〒933-8611 高岡市守山町68番地 TEL.0766-23-1221  
<http://www.takaoka-shinkin.co.jp>